

## ～「(仮)みんなのひろば」検討ワークショップ第2回を開催しました～

現在大槌町では、検討が進められている広場「(仮)みんなのひろば」について、整備イメージを考えるワークショップを行っています。

今回はワークショップ第2回を開催しましたのでお知らせします。

## 第2回ワークショップ結果概要

## 第2回ワークショップの内容

◎開催日時：令和5年3月20日（月） 18：00～20：30

◎会場：大槌町文化交流センターおしゃっち

◎参加人数：9名

◎テーマ：どの場所になにつくろう？

【第1部】：前回と高校生のワークショップ結果を踏まえ、整備を行う上で、どんなことを一番に重視したいかを検討しました。また、これまで考えたアイデアは大槌町にどのような効果をもたらすか、いつ・誰が・どのような目的で利用できるかを考えました。

【第2部】：各候補地についての課題点や考えたメリット・デメリットを踏まえ、第1部で考えたイメージはどちらの候補地により当てはまりやすいかを、アイデアカードを使って考えました。



ワークショップの様子

## 第1部の結果(ソフト面) ※意見の抜粋

## 「一番に重視したいことは？」

- ・子どもの自由な遊び
- ・安心安全な場所
- ・「楽しい!」「行きたい!」と思える場所
- ・子どもの「やりたい!」が中心になる広場

## 「これまでのアイデアによる大槌町への効果は？」

- ・子どもの健康や想像力につながる
- ・外に出る人が増え、交流が生まれる
- ・大人と子どもの良い距離間を保つことができる
- ・遊びを通じて町内外からも人が来る

## 「誰が・いつ・どのような目的で利用できる？」

- ・日中は子ども、夕方から夜は中高生（一人になれる時間）
- ・それぞれの「遊び」に向かう前の拠点として
- ・未就学児と親

## 第2部の結果(ハード面) ※意見の抜粋

## 「これまで考えたアイデアはどちらの候補地に当てはめやすい？」

## 大槌病院跡地

- ・車の往来が激しくない
- ・遊具をたくさん置ける
- ・壁や地面に絵を描いたりできる
- ・思いきり走れる
- ・ボール遊びができる
- ・大声を出せる
- ・騒音を気にしなくてよい

## どちらにも当てはまる

- ・緊急時に子どもたちだけで避難できる
- ・色であふれる
- ・水で遊べる
- ・イベントが開催できる
- ・子どもの遊び場に限定しない
- ・みんなで「つくる」

## 大槌役場跡地

- ・安心して子どもを放置できる
- ・様々な世代が集える
- ・まちのシンボルになる
- ・人が人を呼ぶ
- ・高齢者でも散歩ができる
- ・地域の方が子どもたちを見守ることができる

第1部（ソフト面）では、主に「子どもの遊び」、「安全」が多く、全体的に子どもを中心に整備内容を検討することが望ましいと考える意見が多い傾向にありました。

第2部（ハード面）では、病院跡地は車通りが少なく、敷地にゆとりがあることから、ボール遊びや遊具などの「遊び」に関してのアイデア多く当てはまり、役場跡地はおしゃっちに敷地が隣接することから、「人が集まる空間」のアイデアが当てはまりやすいことがわかりました。